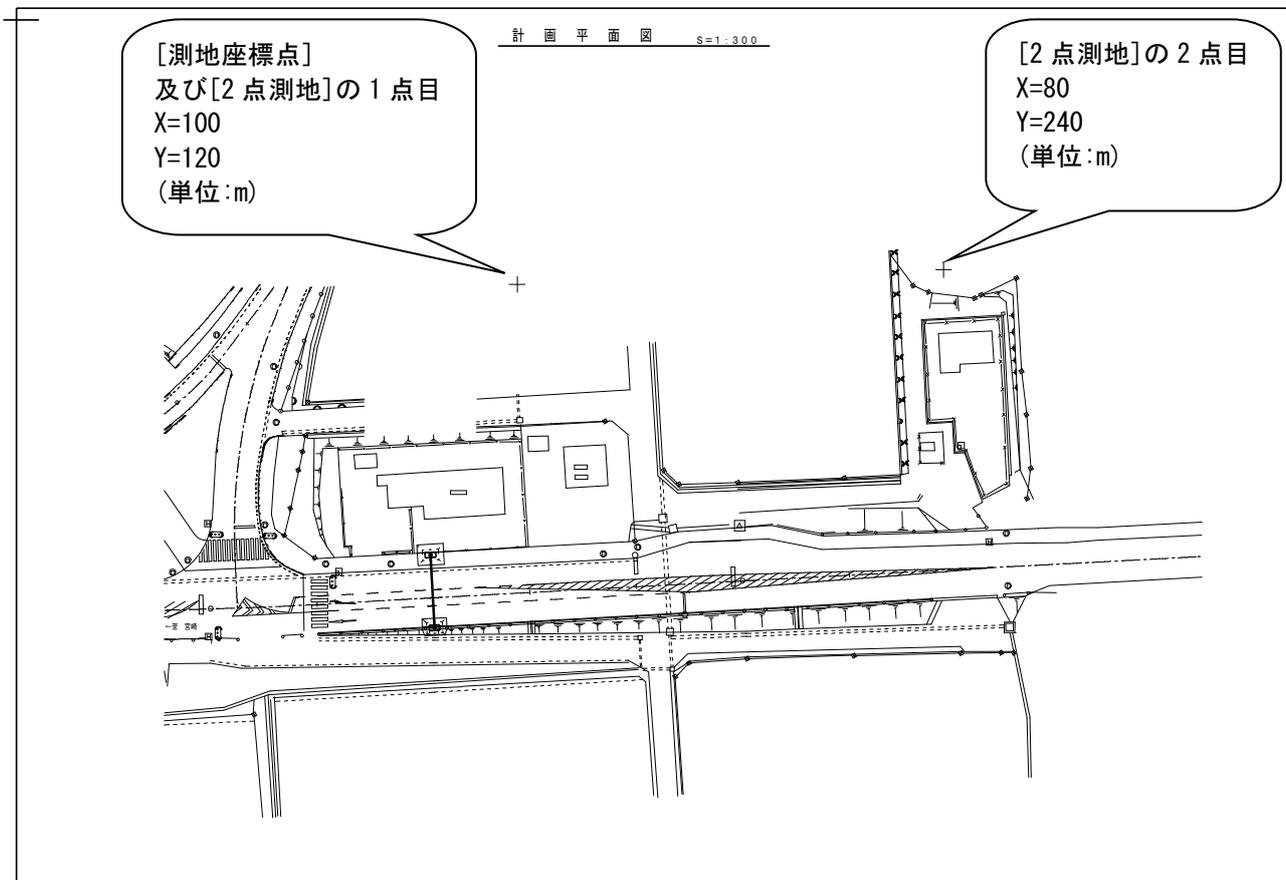


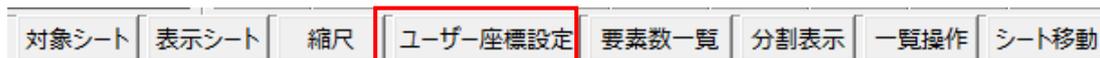
# ユーザー座標

## 1. シートに座標を設定します

シートを利用して、既存の図面に任意の座標や傾きを与えることができます。



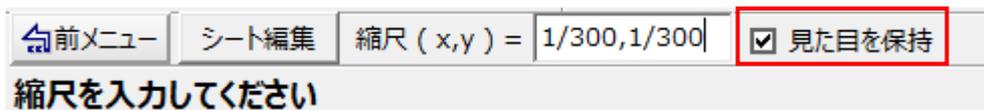
操作 1. [シート] - [ユーザー座標設定] ボタンをクリックします。



操作 2. 縮尺を入力して下さい。「見た目を保持」にもチェックを入れてください。

よろしければ [Enter] キーを押します。

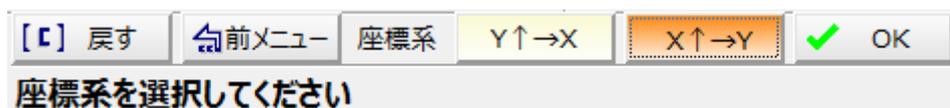
注) チェックを入れない場合・・・配置座標として指示した現在のシート上の座標位置を、測地座標で入力した座標の位置へと変更するためにシートを移動させ（ずらし）ます。その為、すでに図形が描かれている既存の図面では、描かれた図形の位置が大ききずれの可能性があります。図形の位置を変更したくない場合には、『見た目を保持』にチェックを付けてください。



### 注意

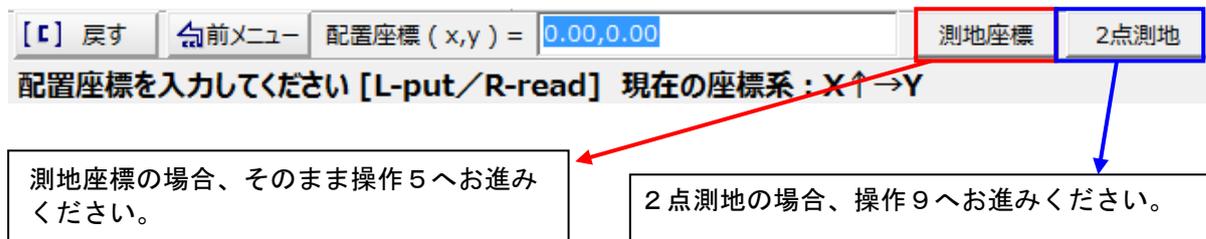
座標設定したデータ（「見た目を保存」にチェックを入れたもの）を DXF 変換した場合、図形の位置が大ききズレます。これは、DXF の仕様に座標に対するデータ構造がないためです。「見た目を保持する」は BV シリーズ独自の機能です。他データに変換すると、この機能は保持されません。

操作 3. 座標系を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



注) Y↑→X……数学座標系  
X↑→Y……測地座標系

操作 4. 配置座標入力の前に、[測地座標] または [2点測地] ボタンをクリックします。



### 【測地座標の場合】

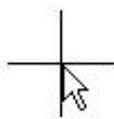
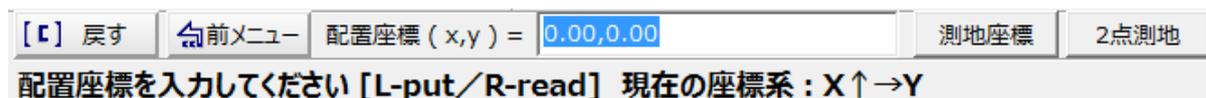
操作 5. 確認している測地座標の数値を入力し、[Enter] キーを押します。

**注意**

メートル単位で入力します。  
操作 3 で数学座標系を選択した場合は数学座標で、測地座標系を選択した場合は測地座標での入力になります。

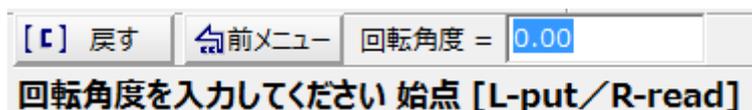


操作 6. 再び操作 4 と同じサブメニューに戻りますので、操作 5 で入力した測地座標の位置を用紙座標（左下が 0,0）で入力するか、マウスでその位置をクリックします。（例ではクリックします）

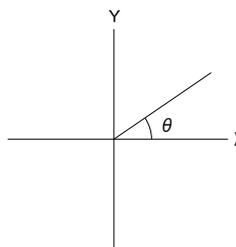


端点・交点の場合は  
右クリックサーチで！

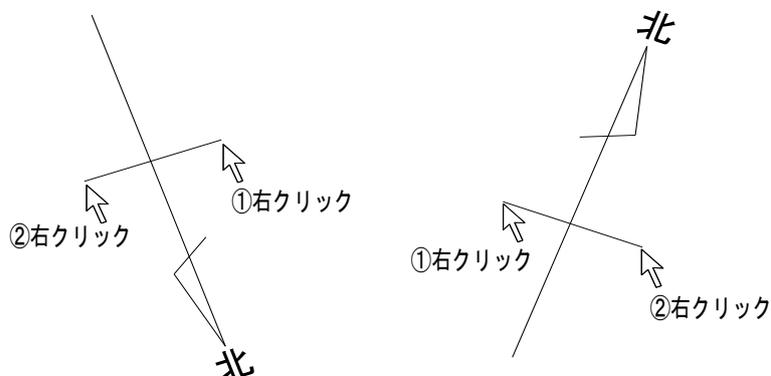
操作 7. 回転角度を入力し、[Enter] キーを押します。



数学座標系の角度を入力してください。



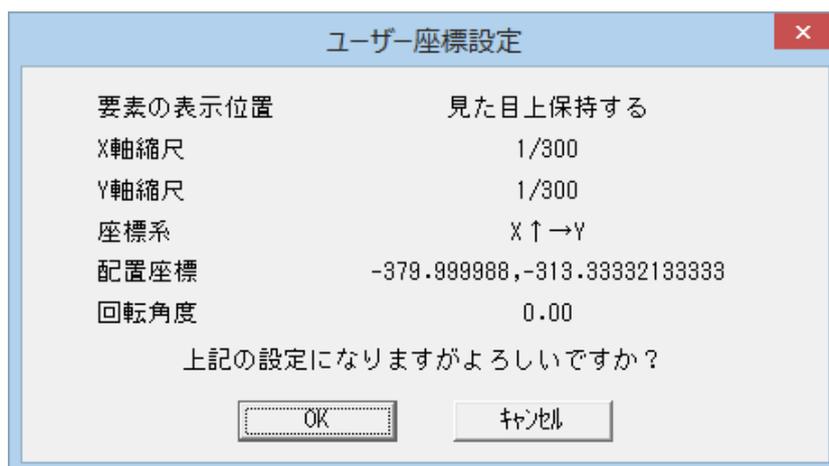
## ◆ワンポイント…座標系に傾きがある場合



傾きがある場合、2種類の入力方法があります。

1. 数値入力  
数値を入力してください。  
度分秒の場合は「,」(カンマ)を入力してください。
2. マウス入力  
北を上にして西から東へ右クリックすることにより、角度が設定されます。

操作 8. 確認画面が表示されますので、よろしければ [OK] ボタンをクリックします。



測地座標の設定はこれで完了です。

## 【 2 点 測 地 の 場 合 】

操作 9. 1 点目の測地座標の設定を行います。

確認している 1 点目の座標の数値を入力し、[Enter] キーを押します。

### 注意

メートル単位で入力します。

操作 3 で数学座標系を選択した場合は数学座標で、測地座標系を選択した場合は測地座標での入力になります

[C] 戻る	前メニュー	測地座標 (x,y) =	100,120
1点目の測地座標を入力してください。(メートル単位)			現在の座標系: X↑→Y!

操作 10. 1 点目の座標の位置を用紙座標 (左下が 0,0) で入力するか、マウスでその位置をクリックします。(例ではクリックします)

[C] 戻る	前メニュー	測地座標 (x,y) =	0.00,0.00
1点目の配置座標を入力してください [L-put/R-read]			現在の座標系: X↑→Y



端点・交点の場合は  
右クリックサーチで!

操作 11. 2 点目の測地座標の設定を行います。

確認している 2 点目の座標の数値を入力し、[Enter] キーを押します。

[C] 戻る	前メニュー	測地座標 (x,y) =	80,240
2点目の測地座標を入力してください。(メートル単位)			現在の座標系: X↑→Y

操作 12. 2 点目の座標の位置を用紙座標 (左下が 0,0) で入力するか、マウスでその位置をクリックします。(例ではクリックします)

[C] 戻る	前メニュー	測地座標 (x,y) =	0.00,0.00
2点目の配置座標を入力してください [L-put/R-read]			現在の座標系: X↑→Y

操作 13. 確認画面が表示されますので、よろしければ [OK] ボタンをクリックします。  
2 点測地の場合は回転角度も自動的に計算されます。

ユーザー座標設定	
要素の表示位置	見た目上保持する
X軸縮尺	1/300
Y軸縮尺	1/300
座標系	X↑→Y
配置座標	325.359438841397,-407.06184086224
回転角度	53.1401880187556
上記の設定になりますかよろしいですか?	
OK	キャンセル

2 点測地の設定はこれで完了です。

## 2. 図面上に座標を表示します

操作 1. [寸法線] - [新規] をクリックします。

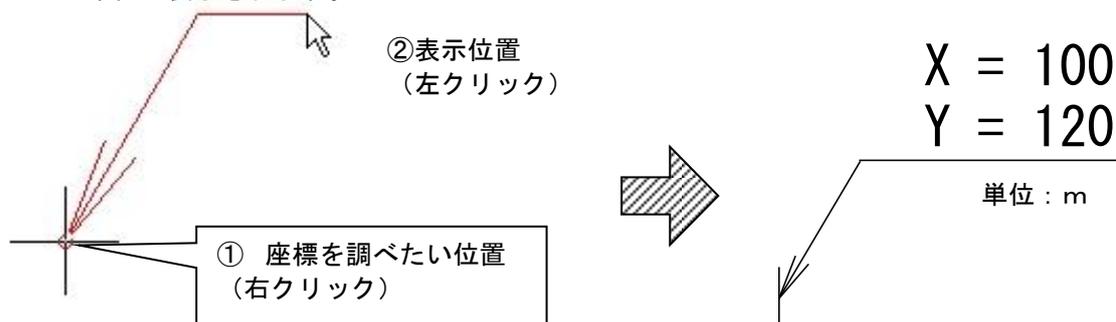


操作 2. 寸法メニューが表示されます。[引出し] と [簡易座標表示] にチェックを入れます。



※「座標単位」で表示させる座標の単位を変更することができます。

操作 3. 引き出し線の引き出し位置と形を決定し、最後に座標表示をする点を右クリックで決定します。メートル単位で表示されます。



単位を mm にする場合 (BV9 以前)

[作図]-[座標入れ]を選択します。次に「設定」ボタンを押します。「単位」"mm" を選択します。



## ◇ワンポイント…小数点以下を表示する場合

座標表示の際、小数点以下の値まで表示したい時は、下記の設定を行ってください。

[寸法線] - [設定] をクリック、「寸法値」タブをクリックします。「表示桁」欄の「表示桁＝」にプルダウンメニューから、小数点以下何桁まで表示するか（例“3”）を選択して [OK] ボタンを押して閉じます。



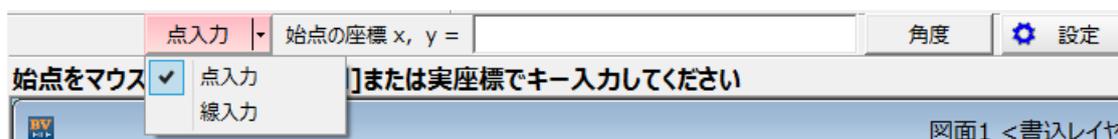
### 3. 指定の座標に点（線）を作図します

座標が設定されたシートに指定した座標ポイントを打ちましょう。

操作 1. メニューバーから [作図] を選択し、プルダウンメニューから [座標入れ] をクリックします。



操作 2. これから入力する座標ポイントに点を置くのか、ポイントまで線を引くのかを [線入力]、[点入力] のボタンで選択します。



## 操作 3. ● [線入力] の場合

- ① 線の引き出し（始点）の位置をサブメニューの『始点の座標 X, Y』に入力（通常はメートル単位）するか、図面上の引き出しポイントをマウスでクリックすることにより決定します。
- ② サブメニューに表示される一行入力欄『X, Y』に座標を入力（通常はメートル単位）し、[Enter] キーを押すと始点からその座標ポイントまで「2点結線」が描画されます。



## ● [点入力] の場合

- ① 始点の位置をサブメニューの『始点の座標 X, Y』に入力（通常はメートル単位）するか、図面上の引き出しポイントをマウスでクリックすることにより決定します。
- ② 続けてサブメニューに表示される一行入力欄『X, Y』に座標を入力（通常はメートル単位）し [Enter] キーを押すと、その座標ポイントに「点」が描画されます。



## ◇ワンポイント…絶対座標、相対座標



[設定] ボタンをクリックすると、各種設定ができます。

x, yに入力する単位を設定したり、連続して座標入れを行った時に、2点目以降を絶対座標にするか、あるいは1点目以降に対する相対座標で行うかを設定することができます。